



奥州支部だより

第 36 号

令和 7 年 9 月 発行

公益社団法人岩手県看護協会
奥州支部長 佐藤 智恵美

支部長挨拶

奥州支部長 佐藤 智恵美（美山病院）

会員の皆様には、日頃より支部の活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

6月に通常総会が開催され、今年度支部長を務めさせていただくこととなりました。現在、支部役員と共に今年度計画している研修をはじめ、支部活動を進めています。

住民及び医療・介護で働く皆様が、イベント等の活動を通して一緒に楽しい時間を過ごし充実感が得られるように、そして研修では自己のスキルアップにつながるように企画していきたいと思います。

今年度も引き続き、会員の皆様のお力添えをいただきながら、円滑で活発な支部活動を行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

看護の日

千葉 由佳里（胆沢病院）

5月10日 コープアテルイ2階にて「看護の日」のイベントを開催しました。内容はグリッターバッグを使用した手洗い、健康相談、グッズ配布等を実施しました。

78名の方に参加していただき、特に子供連れの方にはグリッターバッグを使用した手洗いが好評でした。「看護の日」のイベントは、“看護の心をみんなの心に”として地域社会で認識され、看護を担う人材確保につなげることを目的としています。このイベントを通し、地域住民の方々にとって身近な看護のイメージが共有され、理解を深められる機会の場になればと思います。



第9回 いわて奥州きらめきマラソン

徳永 悠真（奥州病院）

5月18日 晴天の中、国内外から沢山のランナーが奥州の町を駆け抜けました。私も今年初めてランナーとして参加しました。途中苦しくなりそうな時、沿道からの沢山の声援に後押しされ、無事に走りきることができました。今年も例年以上に猛暑でしたが、運営スタッフ、救護係、他にも沢山のサポートのお陰で、大きな事故等もなく、ランナーの方達が安心して走れているのだと感じました。

皆さん、お疲れさまでした！

看護はひとつ ～心のバトン～

野崎 聡子（胆沢病院）

看護師となり今年で27年目となりました。今まで転勤を数回経験し、現在は胆沢病院で勤務しています。

私が所属している外来では、1日あたり600人ほどの患者様が訪れ、診察や検査がスムーズに受けられるようにサポートしています。その中で、中央処置室では毎年、1年目の研修医を受け入れ、採血実習を行っています。患者様の呼び入れから採血検体の処理、カルテ確認の仕方等を事前にオリエンテーションし、実践しています。

はじめこそ、慣れない手つきであっても研修を終える頃には1人のスタッフとして採血の一連の過程が実践できるようになります。採血にご協力いただく患者様も不安そうな表情を浮かべたりしますが、「ありがとう」「痛くなかったよ」「頑張って」等声をかけてくださり、私たちが患者様をサポートする立場でありながら、私たちが患者様にサポートしていただいている面もたくさんあることを改めて実感しています。

看護師は、後輩指導や教育に積極的に取り組み、自身の経験や知識を後輩に伝え、共に成長していくことも大切な役割であると日々感じています。そのことが、患者様へのより良い看護の提供に繋がることを信じて、これからも邁進していきたいと思います。

令和7年度 奥州支部役員・委員紹介

支部長	佐藤 智恵美（美山病院）	
副支部長	熊谷 薫（奥州病院）	大槻 かおり（江刺病院）
会計	小澤 幸子（奥州市医療局）	菊地 加奈江（美希病院）
書記	千葉 由佳里（胆沢病院）	乗金 高志（まごころ病院）
看護師職能Ⅰ	徳永 悠真（奥州病院）	鈴木 千賀（胆沢病院）
看護師職能Ⅱ	盛 和枝（東水沢訪問看護）	野崎 聡子（胆沢病院）
保健師職能	清水 修子（奥州市役所）	
推薦委員	中沢 はるみ（美希病院）	山内 千裕（江刺病院）
	矢作 静（胆沢病院）	井上 幾代（奥州市医療局）



「いわて奥州きらめきマラソン」救護活動に参加した支部役員